

## 2013年度 岩手ボランティアバス 第10回（10/11～14）

55名参加（2013年度のべ597名）



陸前高田市<sup>かみおさべ</sup>上長部の郷<sup>さと</sup>で畑の草引き。以前のボランティアさんが種をまいた自菜や大根も元気に育っています



見渡す限り何もなくなり、元が市街地とは思えません（陸前高田市）



大槌町役場にて。一部を残して取り壊し、映像で保存する計画が進められています



大槌町の畑でさつま芋掘りの農作業を

第10回の岩手ボランティアバスは、55名が参加し、陸前高田市と大槌町に分かれて活動しました。今回は晴天に恵まれ、さつまいもの収穫や、畑の草引き作業などの農作業を行いました。収穫された作物は別のNPOに買い取ってもらい、仮設で独り暮らしをされている高齢者の方などの見守り活動などに使われています。

ボランティアとしては、いも掘り、ラベンダーの穂摘みとクルミ拾いもさせて頂いて、里山でのんびり過ごせたこと、とても嬉しかったです。

しかし大きく心に残ったのは、津波にさらわれたガレキがまだ多く点在し、仮設住宅から出られない住民がほとんどとのこと。皆さんはどんな生活をされているのか。これからどこに安住の場を作っていくのか、方向が見えない現状です。国はどこまで住民の意見をくみ上げ、みんなが納得できる町ができるのか。

今後この地がどうなるのか見守り続けていきたいと思えます。

（大槌町に参加の守口市・

前田さん）